

学校だより



くすのき

【学校教育目標】

主体的に学び、人とのかかわりを
大切にする子どもの育成



令和5年度 2月号

由布市立挾間小学校長 石井 知由美

本校にも届きました!!

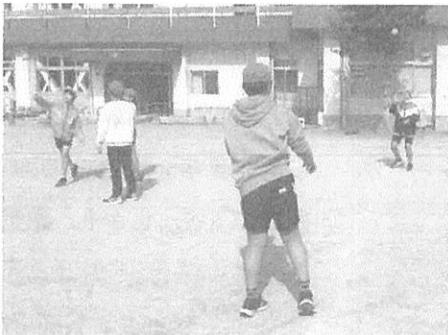
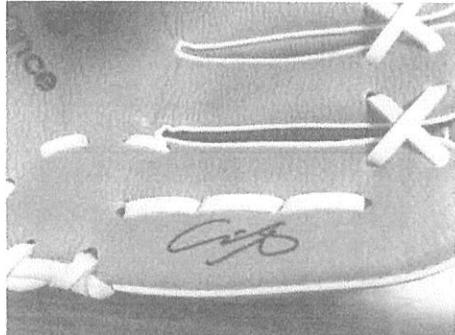
ニュースで話題になっていた『大谷選手
寄贈のグローブ』が本校にも届きました。



同封の手紙は、挨拶の後「ロサンゼルス・エンゼルス・オーブ・アナハイムのメジャーリーガー、大谷翔平です。」で始まります。途中、「この3つの野球グローブは学校への寄付となります。それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与える勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。

それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。」「このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。」そして最後は、「野球しようぜ。大谷翔平」と結ばれています。

大谷さんの思いに応えるため、本校では1クラス1日順番に回し、全員がグローブをはめてキャッチボールをするようにしました。早速使った6年生は、「取りやすかった」「うちにあるグローブより柔らかくて使いやすかった」「初めてキャッチボールをしたけどうまく取れた」とニコニコで話してくれました。



「あたまおしりゲーム」大盛況

「バナナサンド」というテレビ番組をご存じでしょうか?その中に『あたまおしりゲーム』というコーナーがあります。あたま(初め)とおしり(終わり)の文字が示され、それに該当する言葉(できるだけ長いもの)を探すというゲームです。みんなで楽しくて取り組む中で、子ども達の語彙を増やせるし、じ書で調べたり、本に触れる機会が増えたりすることも期待し、全校児童に参加を呼びかけました。

第1回のお題は「し」「つ」。例は「しょうがつ(正月)」。子ども達の答えは、「集中治療室」や「少人数教室」など、なるほど!と思う言葉が多くたくさん。休み時間になる度に誰かが参加しており、50個の枠がうまつたらお題を変えるシステムで、現在、第5回に突入しています。



2月行事			
日	曜	集会	行事
1	木	ゆーふー	
2	金		
3	土		
4	日		
5	月		委員会活動 SC
6	火	児童	
7	水		
8	木	ゆーふー	
9	金		新入学児童保護者説明会
10	土		
11	日		建国記念の日
12	月		振替休日
13	火	平和	
14	水		
15	木	ゆーふー	
16	金		引き渡し訓練
17	土		
18	日		
19	月		SC
20	火	ふれあい	学力向上会議 アスリート事業(6年)
21	水		
22	木	ゆーふー	米作り感謝の会(5年)
23	金		天皇誕生日
24	土		
25	日		
26	月		学年末授業参観・懇談会(6年) SC
27	火	体育	
28	水		
29	火	ゆーふー	学年末授業参観・懇談会(1~5年)

【2月の生活目標】 静かにろうかを歩こう
先手あいさつをしよう!

【3月の主な行事予定】

- 4日(月)~15日(金) 校務整理週間(短縮校時)
- 5日(金) 6年生を送る会
- 14日(木) 学校運営協議会
- 22日(金) 卒業証書授与式
- 26日(火) 修了式
- 29日(金) 離任式

学校運営協議会が動く

12月8日(金)の第3回学校運営協議会で確認した要望書を持って、枝木東海会長とともに橋本洋一教育長の元を訪れました。

学校周辺のグリーンベルトや白線、「文」の文字の塗り直し、速度規制等、子ども達の通学路の安全確保について枝木会長が説明し、要望しました。橋本教育長は、熱心に耳を傾けてくださり、早速、関係各所に働きかけてくれています。

子ども達の安全確保

は、地域の安全確保にも

つながります。地域の皆

様と一緒にになって取り組

んでいければ、より安全

な狭間地区になると思います。

是非、ご協力ください。



ちょっといいはなし

《その1》

毎朝、子ども達を出迎えるため校門に立っていますが、校門前を通る車の方や向之原駅に向かう方にも挨拶をしています。当然ですが、最初はこの人は誰だろう?という感じでした。しかし、最近は、車の中から先に会釈してくれる方もいるし、「おはようございます。行ってらっしゃい」「おはようございます。行ってきます」と挨拶を返してくれます。嬉しいなと思うと同時に、挨拶が飛び交う地域って素敵だと実感しています。私自身、とても気持ちの良い一日のスタートを切ることができます。感謝!

《その2》

「校長先生～、もう書くところがありません。」と校長室に知らせに来てくれます。『あたまおしりゲーム』で他の人より長い言葉を探すことに意欲的に取り組んでくれている子どもがいます。私の知らない言葉を知っている子どもがいます。自分は出し尽くしたので、お題が変わるので楽しみにしている子どもがいます。子ども達が言葉に興味を持ってくれることが嬉しいです。